

## 民俗－２ スバイカケ

こくたん はくたん

木炭は製法の違いから黒炭と白炭に分けられます。

宮崎では炭の生産のうち約80%が白炭で、江戸時代から日向木炭の名で知られていました。現在でも白炭の生産量は全国で10位以内に入るほどです。白炭は真っ赤に焼けた炭を炭窯からカキダシボウでかき出した後、スバイとよばれる湿らせた灰をかぶせて作ります。このスバイをかけるときに使用される道具をスバイカケ

といいます。全長180cm程で鉄製、柄はスギでできています。本博物館では延岡市北浦町三河内の炭窯をモデルにした炭焼き小屋のジオラマがあり、男性が炭をかき出し、女性がスバイカケを使って白炭をつくっている場面が再現されています。



のべおか し きたうら

ちようみ かわうち